

産業情報誌

商工 ナビ いずみ

“ものづくり創造への道案内”

第
13
号

編集・発行:和泉市ものづくり
サポートセンター
(府中町四丁目20-2)
発行 日:平成22年7月20日
URL:www.monodukuri.izumi.osaka.jp/



テクノステージ和泉 (2009 年 3 月イメージ)

目 次

紹介・・・・・・・・・・	2・3
表彰	
桃山学院大学寄附講座	
特集・制度・・・・・・・・	4・5・6
和泉市ものづくりサポートセンター	
和泉イブニングセミナー	
ものづくり支援事業	
おおさか地域創造ファンド	
開催事業・・・・・・・・・・	7
人材育成事業	
和泉商工会議所	
公的施設の案内・・・・・・・・	8

イノベーションと躍進 力強いテクノステージ和泉

分譲終了から5年を経過したテクノステージ和泉は、多様な企業、物流施設、研究施設等が集積しており、地域はもとより大阪の産業の高度化と経済活性化に貢献しています。

進出企業約120社は企業相互の交流を深めており、コンテンツのアーカイブを図ることで、企業間の信頼性、理解を深めています。今後もテクノステージ和泉の企業、団体等はより高度なイノベーションと取り組むことにより、さらなる躍進が期待されています。

和泉市ものづくりサポートセンターでは、テクノステージ和泉の企業をはじめ、市内のものづくり企業の皆様と一緒に支援してまいります。

大阪府知事表彰「大阪府発明実施功労者」を受賞

科学技術の向上と大阪府産業の振興に貢献されたことが認められ、テクノロール株式会社 代表取締役西脇宏氏が『印刷ロールおよび印刷機』の発明考案で、平成 22 年 4 月 16 日、たかつガーデンにて、平成 22 年度大阪府発明実施功労者賞を受賞されました。これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



■商品名：ヒッキー・ゴースト除去ロール

「ヒッキースーパー WT」ローラは一般油性インキ、UV インキ兼用

ヒッキースーパー WT ローラはベスゴムに UV 印刷では大変御好評頂いておりますトラストを用いていますので、UV インキは勿論、一般油性インキにも安心して御使用頂くことが出来ます。

《功績の内容》

自社で開発した特殊印刷の UV 印刷（紫外線硬化型印刷）に優れたトラストシリーズに、ヒッキースーパー技術を絡めることにより、オフセット印刷の品質向上と省資源に大きく貢献した。【特許番号：特許第 2720315 号】



平成 22 年度「テクノステージ和泉まちづくり協議会」総会開催

テクノステージ和泉まちづくり協議会総会が 5 月 21 日に開催されました。

96 名が参加のもと、提案された案件がすべて可決され、会員の協力による、より一層、良好で健全な産業団地としての街づくりの推進及び会員相互の交流・親睦を図るため以下の事業計画が採択されました。



平成 22 年度事業計画

- ①クリーンデー（清掃活動）の実施
- ②自主防災連絡会の開催
- ③ビジネス連携サロンの開催
- ④交通環境整備事業の取り組み

- ⑤和泉少年サッカー「テクノステージ和泉杯」の開催
- ⑥人材育成事業の取り組み
- ⑦研修会（見学会）の開催
- ⑧新年互礼会の開催
- ⑨和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク、和泉市商工まつりへの参加
- ⑩防犯灯（道路照明灯）の維持管理
- ⑪案内誘導標識の維持管理
- ⑫広報・PR 活動
- ⑬就職情報フェアへの協力
- ⑭和泉商工会議所テクノステージ部会と共催事業を行う
- ⑮昼食懇談会の共催
- ⑯職場体験学習の受け入れ

桃山学院大学で寄附講座

産学官連携の一環として、平成 22 年度前期講座 経営学特講（地域ビジネス塾）朴大栄教授の寄附講座を開催しました。一般公開として毎回 250 人にも及ぶ参加者にて講義会場は賑わいました。

開催日	ゲスト講師	テーマ
4 月 15 日（木）	和泉市長 辻 宏康	「豊かな自然と可能性あふれる みんなで創る新時代都市 和泉」
4 月 22 日（木）	和泉商工会議所専務理事 木寺正次	「和泉農業ヒト・モノ・カネ活用プロジェクト」の成果と課題について
5 月 6 日（木）	(株) スワート代表取締役社長 小谷口 繁	「東アジアにおける水問題へのアプローチ」
5 月 13 日（木）	(株) タイショーテクノ 代表取締役 岡室 養子	「地域に根差し発展する企業とは」
5 月 20 日（木）	大塚ホールディングス (株) 代表取締役副会長 大武 健一郎	「変化の時代における人材育成」
5 月 27 日（木）	(有) いずみの里代表取締役 久保 充己	「地産地消ーおばちゃんビジネスー」
6 月 3 日（木）	大阪コートロープ (株) 代表取締役社長 加納川 快明	「世界最小ステンレスロープ、9 ミクロンに込められた経営哲学」
6 月 10 日（木）	日本人造真珠硝子細工工業組合理事長 佐竹 保彦	「地場産業と人工真珠業界」
6 月 17 日（木）	会員制体験農園ふぁっとりあ組合長 飯阪 保	「農空間を生涯学習社会に活用しませんか？」
6 月 24 日（木）	大阪府商工労働部商工労働総務課 大阪産業経済リサーチセンター 主任研究員 松下 隆	「中小企業が活躍する大阪産業と中小企業経営事例」
7 月 1 日（木）	和泉市商店連合会会長 村井 良之	「大阪の商人（あきんど）」
7 月 8 日（木）	坂本造機 (株) 代表取締役社長 坂本 進	「高付加価値なモノづくりで貢献できる企業づくり」
7 月 15 日（木）	大阪金属 (株) 代表取締役社長 阪口 新太郎	「大阪金属(株)の中国ビジネスの原点について」

テクノステージ和泉 ビジネス連携サロンを開催

平成 18 年度より行っています、ビジネス連携サロンも 7 月で第 18 回目を迎えます。

毎回 50 名を越す皆様にご参加いただき、講師の皆様にもご出席いただいての交流会も行っています。有意義ななかにも楽しく情報交換のできる場です。第 18 回では、大阪府が運営する BMB（ビジネスマッチングブログ）との共催で、工場見学と BMB 会員様より BMB 活用術と効果のお話も頂きます。

第 16 回＜平成 22 年 2 月 10 日＞

■「厳しい時代を乗り越えるための人の活かし方」

講師：東孝一氏（中小企業基盤整備機構近畿支部、事業化支援プロジェクトマネージャー）

■「人と組織に力を付ける中小機構の支援事業活用方法」

講師：樋口光生氏（中小企業基盤整備機構近畿支部、経営支援課 課長代理）

第 17 回＜平成 22 年 4 月 21 日＞

■「オープンソースで変わるホームページ」

講師：平松初珠氏（府立産業技術総合研究所 情報電子部 制御情報系）

■「情報発信で企業が変わる！ BMB ブログ活用術」

講師：川本誓文氏（大阪府産業デザインセンター 府商工労働部商工振興室ものづくり支援課分室 主任研究員）

第 18 回＜平成 22 年 7 月 28 日＞

■「ビジネスマッチングブログ活用と施設見学会」

見学先（予定）

○大阪府立南大阪高等職業技術専門学校

○エム・テクニク（株）

○テクノロール（株）

○大阪コートロープ（株）

○坂本造機（株）

○（株）鉄屋

○（株）ヨネキン



救急救命に感謝状

—救命講習受講者—

株式会社 西海建設（所在地：テクノステージ 2-3-14）の小山典幸氏が 2 月に JR 阪和線「鳳」駅近くでタバコを買おうとしていた女性が急に倒れるのを目撃、救急車が来るまでの間、心臓マッサージ・人工呼吸等の救命処置を施したことで、女性は後遺症も残らず回復されました。この適切な初期対応が一人の女性の命を救ったとのことから、地元消防署長から、感謝状が贈られました。



和泉少年サッカー

“テクノステージ和泉杯” 開催

本年 2 月 7 日桃山学院大学のグラウンドで恒例となりました第 4 回和泉少年サッカー『テクノステージ和泉杯』が行われました。U-10（小学生 4 年以下）を対象に和泉市内の 10 チームが、熱い試合を繰り広げました。



テクノステージ内 信号機の設置

テクノステージ和泉まちづくり協議会では、操業環境整備の一環として、和泉警察署宛に唐国久井線（テクノステージ内）の信号機設置を要望してまいりました。今春、府立南大阪高等職業技術専門学校前に設置いただき、横断も安全になりました。



特 集

和泉市ものづくり サポートセンター

紹介します！

ものづくり元気企業

「和泉市ものづくりサポートセンター」では、創業支援、販路開拓、新分野進出などを計画している「やる気のあるものづくり企業」と一緒にサポートします。

お気軽にご連絡ください！

■和泉市ものづくりサポートセンター

TEL：0725－46－9000

FAX：0725－46－9001

ホームページ：http://www.monodukuri izumi.osaka.jp

Eメール：support@monodukuri izumi.osaka.jp



こんなときご相談ください

- 新しい会社を創業したい
- 異業種の企業等と交流したい
- 新たな販路を開拓したい
- 特許や実用新案の申請をしたい
- 新しい技術を開発したい
- ビジネスパートナーを探している
- 資金の調達を考えている
- 公的な支援制度を活用したい

↓ 直接、企業に訪問し
経営、管理等の要望、一緒に解決

- ◎府立産業技術総合研究所など地元機関との連携
- ◎国・府の支援機関、大学等との連携
- ◎専門機関斡旋、公的支援制度の紹介、融資制度の
一元的相談

ご存じですか展示会等の出展助成金！

和泉商工会議所では、市内で同一事業を1年以上おこなっている中小企業が新技術・新製品等の販路開拓やマッチング等のため、下記展示会等に出展・展示した場合にその費用の一部を助成します。ご利用ください。

①大阪勧業展

②クリエイション・コア東大阪常設展示場

助成金は、出展料の2分の1以内で、1事業者5万円が限度となります。

[クリエイション・コア東大阪]

技術力の高いものづくり企業が集積している大阪東

部地域において、中小ものづくり企業のイノベーションとマッチングの促進を目的として整備され、大阪府ものづくり支援課など行政機関、支援機関が入っているものづくりに関する総合的な支援施設。

<常設展示場>

◇出展料：1ブース 月額21,000円（税込み）



和泉イブニングセミナー

大阪府立産業技術総合研究所は、(社)大阪府技術協会および和泉市ものづくりサポートセンターと協力し、基盤技術講座「和泉イブニングセミナー」を開催しています。

本セミナーでは、ものづくりに関連するいろいろな技術テーマを取り上げ、先端技術だけでなく基礎技術の解説も行っています。

講師は産技研の研究員を中心に構成していますので、産技研研究員との交流を深めていただくよい機会にもなります。

8月には以下の技術テーマを取り上げ、セミナーを開催する予定です。講師や講演概要などの詳細が決まり次第、下記お問い合わせ先団体のホームページやメールニュース、チラシなどでご案内しますので、奮ってご応募ください。

技術テーマ

■『ドライコーティング技術(仮)』(2回)

第1回：平成22年8月23日(月)

内容：「ダイヤモンドライクカーボン(DLC)コーティングの基礎と応用(仮)」

第2回：平成22年8月30日(月)

内容：「溶射技術の基礎と応用(仮)」

お問い合わせ先：

○(社)大阪府技術協会

電話：0725-53-2329

http://www.tri.pref.osaka.jp/dantai/g-kyoukai/

○和泉市ものづくりサポートセンター

電話：0725-46-9000

http://www.monodukuri izumi.osaka.jp/

中小事業者に対し和泉市の支援制度をご案内します

1.研究・開発支援事業

◇対象者

- ・和泉市内で同一事業を1年以上営んでいる中小企業者
- ・構成員の過半数が和泉市内に事業所を有し、1年以上の活動している中小企業交流団体

◇補助額

- ・一件につき要した費用の1/2以内（複数の利用をまとめて申請して頂いても結構です）
- ・同一年度中に一事業所または一交流団体当たり20万円以内（千円未満切り捨て）

◇申請書類

- ・和泉市中小企業振興対策事業補助金交付申請書（和泉市HPよりダウンロード可）

<添付書類>

- ①申請者の概要（和泉市HPよりダウンロード可）
- ②申請事業内容の説明書（和泉市HPよりダウンロード可）
- ③補助金の対象となる費用に係る領収書

◇申請手続き

- ・事業終了後2ヶ月以内に申請書類を提出

2.工業所有権取得促進事業

◇対象者

- ・和泉市内で同一事業を1年以上営んでいる中小企業者
- ・構成員の過半数が和泉市内に事業所を有し、1年以上の活動している中小企業交流団体

◇補助額

- ・工業所有権の区分に応じ、出願料の全額（印紙税相当額）、または審査請求料の一部（右表のとおり）ただし、同一年度中に一事業所あたり20万円以内

◇申請書類

- ・和泉市中小企業振興対策事業補助金交付申請書（和泉市HPよりダウンロード可）

<添付書類>

- ①申請者の概要（和泉市HPよりダウンロード可）
- ②上記申請経費に係わる領収書等証となるもの等
- ③特許庁発行の特許権、実用新案権、意匠権、商標権申請の受領書の写し

◇申請手続き

- ・各工業所有権を申請した日から2ヶ月以内に申請書類を提出

工業所有権の区分及び補助額

工業所有権	対象経費	補助額
特許権	出願料	全額（印紙税相当額）
	審査請求料	10万円以内
実用新案権	出願料	全額（印紙税相当額）
	登録料	出願時に同時に納付する（3年分）
意匠権	出願料	全額（印紙税相当額）
商標権	出願料	全額（印紙税相当額）

3.人材育成支援事業

◇対象者

- ・市内の中小企業の事業主又は従業員で次のいずれかの機関が実施する研修等を修了したもの
- ・大阪府立産業技術総合研究所、中小企業大学校、社団法人大阪府技術協会等

◇補助額

- ・受講料の半額（一事業所当たり20万円以内）（千円未満切り捨て）

◇申請書類

- ・和泉市中小企業振興対策事業補助金交付申請書（和泉市HPよりダウンロード可）

<添付書類>

- ①申請者の概要（和泉市HPよりダウンロード可）
- ②研修実施機関の受講修了証明書（和泉市HPよりダウンロード可又はそれに代わるもの）等

◇申請手続き

- ・受講修了後2ヶ月以内に申請書類を提出

お問合せ・お申込は

和泉市役所 商工観光課

和泉市ものづくりサポートセンター

☎ (0725) 41-1551

☎ (0725) 46-9000

おおさか地域創造ファンド

おおさか地域創造ファンド助成事業は、“活力”と“にぎわい”あふれる地域づくりをめざして、地域資源を活かした技術・製品開発等の取り組みを支援するものです。

今回、平成19年度採択され平成21年度で事業を完了されました「HIRO CRAFT 阪本裕宣」と「株式会社みらくるグリーン（ごとうファーム）」の2社からコメントを頂きましたのでご紹介します。

おおさか地域創造ファンドを活用してしばらく経ちましたが、今現在なんとか少しずつ軌道に乗ってきており創業当初に比べるとやや安定してきたように思われます。ここまでの道のりは決して楽なものではなく事業内容もどちらかという



と季節ものの要素も多分にあるため、この冬を乗り越えられるのだろうかという不安感もありましたが助成制度のおかげでなんとかその時期を耐え忍べたと思います。事業内容的に忙しくなるシーズンを迎える

HIRO CRAFT
阪本裕宣



ごとに少しずつオーダーも増え、今現在ではオーダー待ちが発生している状況です。しかしこの部分は今後の課題でもあります。現在は従業員もなく一人で全ての作業をこなしているためこれ以上の作業量の増加に追いつけない、ゆえに事業としての効率が上がりきらない。

作業内容も職人技術職に加え芸術的なセンスを求められるものでもあるので、誰でもできるというものでもない。その部分を今後強化し発展させていくべく努

力中です。

いずれにしても良い方向での悩みがある事自体喜ぶべきことでありますが、これもこの地域創造ファンドという制度のおかげであると思います。

「植物工場」は工場、ビルの一室など、いわゆる「閉鎖型」の建物の中で、内部の環境をコントロールして、野菜などの植物を生産する場所で、現在、全国には約50ヶ所ある。

年間を通して安定的に、計画的に生産する事が可能だということで注目を集めている。

「植物工場」のメリットと課題

まず、第一にあげられるのが、安定性・計画性だろう。収量や質が天候に左右されるということは、第一次産業に携わる人たちの宿命ともいえる問題であるが、この大きな問題をあっけなくクリアするというインパクトは大きい。生産量が安定するということは、価格の安定にもつながる。

労働時間を見ても、農繁期・農閑期という言葉とは無縁の労働形態になるから就労時間が安定する。また害虫や病気の侵入を防ぐことで、無農薬栽培が可能になる。さらに、作業の軽減や時間の短縮にもなる。

しかし、植物工場にもさまざまな課題はある。まず、工場設置のために莫大な初期費用が必要になるし、電気代を含めた維持費が高額になる。また、安定した品質の野菜を生産するためには、それなりの栽培技術や独自のノウハウなど、専門的で高度な知識が必要になる。

そして最大の課題が、植物工場が「農業」であるのか「工業」であるか、業種としてはっきりと線引きしにくいという現状である。植物工場はその新しさ故、さまざまな金融面での支援や優遇策の網から落ちてしまう可

能性もある。パイオニアとしての悲しい試練である。

小さな葉に大きなパンチ力

実際、みらくるグリーンの植物工場には、そのベビーリーフの噂を聞きつけて、一流レストランのシェフが多く訪れる。彼らは小さな葉っぱを試食し、次々に料理のアイデアを膨らませる。その味と、植物工場産とは思えない日持ちの良さから、このベビーリーフを100g当たり600円から、ときには800円で仕入、送料も自ら負担する。彼らにとってこのベビーリーフは、それだけのお金を出しても手に入れたいこだわりの食材なのである。

今、国を挙げて植物工場を増やす動きがあるが、大金を掛けた植物工場は大企業に任せておけばいい、小さい工場は小さい工場なりのやり方がある。農業は儲からないビジネスだといわれるが、工夫次第でなんとかなる。社会貢献度の高い産業として位置づけたい。

活気ある産業にしたい。関西国際空港に近く、外環状線や阪和道も走っているという、この和泉市の土地柄、その土地の利を生かし、世界に向けて発展する産業にしたい。



人材育成事業「特許情報活用講習会」開催 (特許情報検索実習 入門編)

大阪府立産業技術総合研究所、大阪府立南大阪高等職業技術専門学校、大阪府立特許情報センターのご協力をいただき特許情報検索実習を行います。

開催日：第1回＜平成22年8月3日（火）＞

第2回＜平成22年8月4日（水）＞

時 間：いずれも午後2時～午後4時30分

場 所：大阪府立南大阪高等職業技術専門学校1階

受講料：無料

申 込：下記までFAXにてお申込みください。

大阪府立南大阪高等職業技術専門学校 訓練課あて

TEL：0725-53-3005 FAX：0725-53-3015

ビジネスマナー講座を開催

大阪府立南大阪高等職業技術専門学校にてビジネスマナーを2日間（平成22年度6月17日・22日）にわたり丁寧に指導いただきました。



テクノステージ和泉 自主防災連絡会の取組み

救命講習会

平成20年度に「テクノステージ和泉自主防災連絡会」が発足して以来、会員企業の参加のもと、万一の場合に備えて企業の枠を超えた取り組みや活動を定期的実施しております。去る、6月25日にもJSTイノベーションプラザ大阪において、市消防本部のご指導をいただきながら、心肺蘇生法、AEDの使用手法等、参加者36人が熱心に訓練に取り組みました。（次回7月29日予定）



テクノステージ和泉 クリーンデー

テクノステージ和泉では平成21年11月6日、平成22年3月5日、平成22年7月2日、クリーンデーを実施しました。テクノステージ和泉まちづくり協議会の会員企業の協力で昼休みを利用して公共道路などの清掃を行いました。

今回は平成22年11月実施を予定しています。



応援します あなたの経営 和泉商工会議所

「商工会議所」は商工会議所法に基づき、地域内すべての商工業者のために設けられた経済団体で、全国各地の商工業振興をはかる目的で設置されています。国や府・市、他の会議所や経済団体との連携を強化し地域産業発展に努めます。

マルケイ融資は和泉商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が、所得税を滞納していない方で、最近1年以上継続して事業を行っている小規模事業者（従業員数が商業・サービス業5人以下 製造業・その他20人以下）に対して、無担保・無保証人（信用保証協会の保証も不要）で、低利の融資を行う制度です。

和泉商工会議所

所在地：和泉市府中町4-20-2（市民体育館となり）

TEL：0725-46-4141 FAX：0725-46-8686

URL：<http://www.izumicci.jp/>

●商工会議所の推薦による国の融資制度

マルケイ融資（日本政策金融公庫の融資制度）

安心して借りられる無担保・無保証人の融資

資金使途	融資限度額	年 利	返済期間
運転資金 ○仕入や買掛金決済 ○外注費の支払資金など	1,500万円以内	1.85% [平成22年6月9日現在]	7年以内 据置1年以内
設備資金 ○車輛・機械の購入資金 ○工場・店舗の改装資金など			10年以内 据置2年以内

テクノステージ和泉近隣の公的施設の案内

大阪府立産業技術総合研究所 愛称は「産技研」

大阪府立産業技術総合研究所 府民開放

みつめてサイエンス

さわってテクノロジー

○子どものための工作・実験教室

○機器等の実演・体験

とき：平成 22 年 8 月 4 日（水）午後 1 時～ 参加はすべて無料です

府立産業技術総合研究所では、府民の皆さまに産業科学技術やものづくりへの理解と関心を深めていただき、その一端を体験していただけるよう、「子どものための工作・実験教室」と「研究所の開放（機器等の実演・体験）」等を行います。この機会に研究所にお越しいただき、サイエンスとテクノロジーをお楽しみください。

なお、当日は平常通りの業務も行っています。

※工作・実験教室の申し込み受付は終了しました

詳細およびお問い合わせは下記まで

大阪府立産業技術総合研究所

企画総務部企画調整課：0725-51-2511

大阪府立産業技術総合研究所ホームページ：

<http://tri-osaka.jp/>

JST イノベーションプラザ大阪

（独）科学技術振興機構（JST）の業務紹介

JST イノベーションプラザ大阪では事業化に向けた種々の支援を行っていますが、研究開発に対する支援事業として、平成 21 年度から研究成果最適展開支援事業（A-STEP）を開始いたしました。

研究開発にはリスクの高いもの、事業化まで時間を要するものなど、いろいろなものがありますが、そのような開発に対してシームレスに対応できる支援制度が A-STEP で、主に企業が中心となって事業化までをめざす制度となっています。

1. 事業の概要

A-STEP は大学、工業高等専門学校、公立試験研究機関（以下、大学等）で生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための幅広い研究開発フェーズを対象とした技術移転支援制度です。

2. 事業の構成

次の 2 つのステージから構成されています。

（1）フィージビリティスタディ（FS）ステージ

大学等の研究成果に基づく企業との共同研究を目指し、シーズ候補の可能性探索を目的とした初期段階での研究開発を行うものや産学共同でシーズとしての可能性を検証するものなど、3 つのタイプがあります。

（2）本格研究開発ステージ

シーズの実用化に向けて、産と学の共同研究開発による実用性検証あるいは実証試験のフェーズにおける研究開発を行っていただくもので、7 つのタイプがあります。皆様方のご利用をお待ちしています。

詳細については下記までお問い合わせください。

TEL：0725-51-3326 FAX：0725-51-3360

なお、プラザ大阪のホームページもご参照ください。

ホームページ：<http://www.osaka.jst-plaza.jp/>

大阪府立南大阪高等職業技術専門学校

テクノ講座（在職者訓練） 仕事に役立つ講座ありませ！

現在、職業についておられる方を対象に、職業に関して、新しい知識やより高度な技能の習得及び資格取得を支援するための短期講座です。

基礎的な技能を習得したい方や、技術革新に対応する知識や技能を学びたい方に適しています。また、職場の新人研修や技術研修にも適しています。

南大阪高等職業技術専門学校（和泉市テクノステージ）では、IT 関連（ネットワーク、Web 活用に関する講座を中心に、製造現場で役立つ生産工学の基礎、現場のリーダーシップなどの講座を実施しています。

そのほか、府内の各高等職業技術専門学校及び大阪障

害者職業能力開発校で実施しています。

【講座一例】

○Windows ネットワーク構築（入門）、Windows サーバー構築

○製造現場に役立つ生産管理、製造現場のリーダーシップ

○高圧・特別高圧電気取扱い業務、アーク溶接、フォークリフトなどの特別教育

詳しくは、大阪府立南大阪高等職業技術専門学校（テクノ講座担当まで）

電話：0725-53-3005